



6月新着おすすめ本



『百貨の魔法』

村山 早紀 著 (ポプラ社)



時代の波に抗しきれず、「閉店が近いのでは?」と噂が飛び交う星野百貨店。エレベーターガール、新人コンシェルジュ、宝飾品売り場のフロアマネージャー、テナントのスタッフ、創業者の一族らが、それぞれの立場で街の人びとに愛されてきたデパートを守ろうと、今日も売り場に立ちつづける。百貨店で働く人たちと館内に住むと噂される「白い猫」が織りなす、魔法のような物語!

(「BOOK」データベースより)

913.6

MU

星野百貨店のフロアで、もし、猫と出会ったら?
2017年本屋大賞
「ベストミステリー」部門
「桜風堂ものがたり」
著者の最新作!

『銀河鉄道の父』

門井 慶喜 著 (講談社)



宮沢賢治は祖父の代から続く富裕な質屋に生まれた。家を継ぐべき長男だったが、賢治は学問の道を進み、理想を求め、創作に情熱を注いだ。勤勉、優秀な商人であり、地元の熱心な篤志家でもあった父・政次郎は、この息子にどう接するべきか、苦悩した。生涯夢を追い続けた賢治と、父でありすぎた父政次郎との対立と慈愛の月日。

(「BOOK」データベースより)

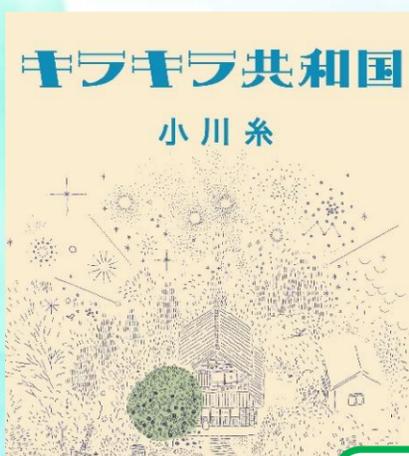
913.6

KA

直木賞受賞作
第158回

『キラキラ共和国』

小川 糸 著 (幻冬舎)



ツバキ文具店は、今日も大繁盛です。夫からの詫び状、憧れの文豪からの葉書、大切な人への最後の手紙…。伝えたい思い、聞きたかった言葉、承ります。『ツバキ文具店』待望の続編。

(「BOOK」データベースより)

913.6

OG

ツバキ文具店は、今日も大繁盛です。夫からの詫び状、憧れの文豪からの葉書、大切な人への最後の手紙……。伝えたい思い、聞きたかった言葉、承ります。
定価(本体1400円+税)

『悪い夏』

染井 為人 著 (KADOKAWA)



第37回横溝正史ミステリ大賞優秀賞受賞! 迫真の犯罪小説。26歳の守は地方都市の社会福祉事務所で、生活保護受給者(ケース)のもとを回るケースワーカーとして働いていた。曲者ぞろいのケースを相手に忙殺されていたその夏、守は同僚が生活保護の打ち切りをチラつかせ、ケースである22歳の女性に肉体関係を迫っていることを知る。真相を確かめるために守は女性のもとを訪ねるが、やがて脅迫事件は形を変え、社会のドン底で暮らす人々を巻き込んでいく。生活保護を不正受給する小悪党、貧困にあえぐシングルマザー、東京進出をもくろむ地方ヤクザ。負のスパイラルは加速し、ついには凄絶な悲劇へと突き進む――。

(Amazon.co.jpより)

913.6

SO

『北陸とらいあんぐる 3』

ちさこ 著 (KADOKAWA)



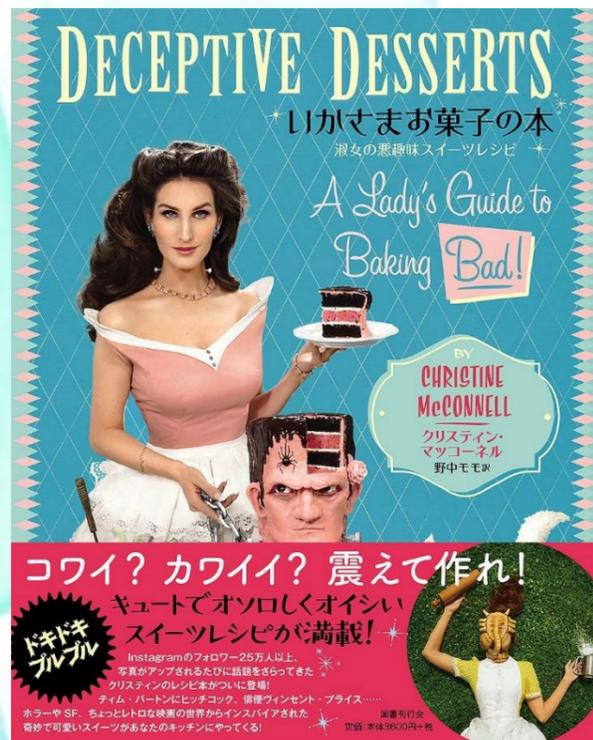
地元愛があふれまくり! な
石川・富山・福井出身の女の子
たちのご当地あるある&女子高
コメディ、好評第3弾!

(Amazon.co.jpより)

K726.1
TI
3

『いかさまお菓子の本 淑女の悪趣味スイーツレシピ』

クリスティン・マッコーネル 著 (国書刊行会)



ティム・バートンにヒッチコック、
俳優ヴィンセント・プライス…ホラー
やSF、ちょっとレトロな映画の世界
からインスパイアされた奇妙で可愛い
スイーツ!キュートで震えあがる美味
しいレシピが満載!

(「BOOK」データベースより)

596.65
MC

「北陸新幹線」「8番ラーメン」
など北陸あるある満載!!

1巻、2巻もあります♪



K726.1
TI
1



K726.1
TI
2



コワイ?

カワイイ?

